1　国語

学校番号	T2101

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ａ	単位数	２	年次	１～４
使用教科書	「現代文Ａ」（三省堂）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ

・「現代文Ａ」では、様々な文章を「読む」能力の向上を期待します。日本語・日本文化に対する興味・関心を持ち、生涯にわたって読書に親しんでいけるようになることをめざします。
・朗読はそれ自体が評価の対象となる活動ですから、できるだけ大きな声で読みましょう。漢字が読めないことや、まちがえることを恥じる必要はありません。
・創作活動、ペアワークなど、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。また、必要に応じて、スライドや映像教材等も使用します。
・プリント学習が中心になります。板書はプリントに書き込みをしてもらいます。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・近代以降の文章を読み、表現を味わい、語句の理解を深めることができる。ふりがな無しで文章を読むことができる。
・読書を通じて、ものの見方、感じ方、考え方を読み取り、考察することができる。
・近代以降の言語文化についての課題を探究し、理解を深めることができる。我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。
・生涯にわたって読書に親しむ態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	書き手や登場人物の生き様やストーリーを通じて、我が国の言語文化についての関心を深め、その特質を理解する。			評論、小説、随想、翻訳作品など様々なジャンルの文章を読み、読書への関心を深める。ふりがな無しの本文を読む。	我が国の言語文化と国語の特質を理解し、語彙を増やし、幅広い知識と教養を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ワークシート）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、ワークシート等）定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期	現代の文化を読む1	求めるものに応えてくれる	○			◎	○	a:「本を読むこと」の意味について、筆者の語りかけを通じて考えようとする。筆者の生き様に関心を持つ。 b:ふりがな無しの本文を朗読できるようになる。 d:文章の内容を理解し、筆者の主張を読み取る。 e:主な常用漢字について使い方を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	ウォーミングアップ	文章を視写しよう①	○			◎	○	a:視写を通じて、題材やテーマについて考え、ものの見方や考え方を広げようとする c:原稿用紙の使い方を理解する。誤字脱字に気をつける。 d:文章の構成を確認しながら筆者の考えを読み取る。 e:主な常用漢字の読み書きを確認し、段落相互の働きを理解する。	a,d:行動の観察及び記述の点検 c,e:記述の点検と分析及び定期考査
	現代の文化を読む1	最初のペンギン	○			◎	○	a:具体例がどのような意味をもっているのか捉えようとする。 b:ふりがな無しの本文を朗読できるようになる。 d:文章の構成や展開を確認し、筆者の着眼点をふまえて人間について、人間が生きる社会について考える。 e:主な常用漢字について使い方を理解する。人間の有限性と創造性について理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	表現プラザ①	絵画をもとに物語を作ろう	○			◎	○	a:書く目的にふさわしい材料(登場人物、時代設定、叙述方法、文体など)を、多様な方法で収集し、適切に選ぼうとする。 c:絵画から読み取れることや物語の設定に関するメモを作成し、それをもとに情景や事柄の順序がわかるような描写をしようとする。 d:絵画から情報を読み取り、背景を想像することができる。 e:地の文と会話文の違い、一人称／三人称の物語の違いを理解する。使いこなせる語彙数を増やす。	a:行動の観察と記述の点検 c,d:記述の確認と分析 e:記述の確認と分析

後期	日本語エクササイズ①	対義語・類義語	○				○	a: 似た意味の言葉、反対の意味の言葉を通じて言葉の面白さに目覚める。漢字検定にも出題されることを伝える。 c:多くの語彙について一度以上書いてみようとする。 e: 対義語・類義語の定義を理解し、日常の言葉への気づきを通して言語への理解を深める。	a,c,e:記述の点検及び定期考査
	現代の文化を読む2	アマガエル	○			◎	○	a:小説に描かれた情景や主人公の心情を読み取ろうとする。 b:ふりがな無しの本文を朗読できるようになる。 d:文章の構成や展開を確認し、主人公の心情の変化を捉える。 e:主な常用漢字について使い方を理解する。作者の幅広い興味関心から学ぶ。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	文学の名作・近現代文学史	文学の名作・ 近現代文学史1	○			◎	○	a: 近現代文学史を通観した上で具体的な文学作品の抜粋と結びつけ、その時代の文体や言葉遣いについて知ろうとする。 b: 教師の朗読を聴き、近代文学のリズムや文体の特徴に気づこうとしている。 d:短い一節の解釈を通じて近代文学の作品や人物に興味を持つ。 e:近現代文学史を知識として得て、さらなる読書につなげていく。	a:記述の点検 b,d:行動の観察 e: 記述の点検及び定期考査
	現代の文化を読む2	旅する本	○			◎	○	a:文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。世界の様々な都市への旅のエピソードから、外国の文化について知るとともに、日本の文学作品や日本文化に関心をもつ。 b:ふりがな無しの本文を朗読できるようになる。 d:「私」の体験と心情について理解し、作者の人物、情景、心情の描き方に気づこうとする。 e:主な常用漢字や言葉の成り立ちについて理解している。また小説の語りの形式や文体を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

後期	ウォーミングアップ	文章を視写しよう②	○			◎	○	a:視写を通じて、題材やテーマについて考え、ものの見方や考え方を広げようとする c:原稿用紙の使い方を理解して書くことができる。誤字脱字なく書き写すことができる。 d:文章の構成を確認しながら筆者の考えを読み取ることができる。 e:主な常用漢字の読み書きを確認し、段落相互の働きを理解する。	a,d:行動の観察及び記述の点検 c,e:記述の点検と分析及び定期考査
	日本語エクササイズ2	四字熟語	○				○	a: 多くの四字熟語に触れることで言葉の面白さに目覚める。漢字検定にも出題されることを伝える。 c:多くの語彙について一度以上書いてみようとする。 e: 四字熟語とその背景にある故事について知り、日常の言葉への気づきを通して言語への理解を深める。	a,c,e:記述の点検及び定期考査
	近代の小説を読む	教材: 「夢十夜」	○			◎	○	a:人物、情景、心情など、作者の描写の特徴をとらえ、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 b:ふりがな無しの本文を朗読できるようになる。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:主な常用漢字の使い方を理解している。また、近代に特有の文章の形態や文体の特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 d、e: 記述の点検と分析及び定期考査
	文学の名作・近現代文学史	文学の名作・ 近現代文学史2	○			◎	○	a: 近現代文学史を通観した上で具体的な文学作品の抜粋と結びつけ、その時代の文体や言葉遣いについて知ろうとする。 b: 教師の朗読を聴き、近代文学のリズムや文体の特徴に気づこうとしている。 d:短い一節の解釈を通じて近代文学の作品や人物に興味を持つ。 e:近現代文学史を知識として得て、さらなる読書につなげていく。	a:記述の点検 b,d:行動の観察 e: 記述の点検及び定期考査

後期	現代の文化を読む3	眼差しを交わす喜び	○			◎	○	a:絵を見るという行為についての筆者の考えを理解しようとする。さまざまな美術作品に関心を持つ。 b:ふりがな無しの本文を朗読できるようになる。 d:文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉える。 e:主な常用漢字の使い方を確認し、語彙を豊かにする。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	表現プラザ②	広告の世界　キャッチコピーコンテスト	○			◎	○	a:実用的な文章の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとする。 c:自分でキャッチコピーを考え、ペアになって感想を述べ合い、その効果を考える。 d:広告のねらいや表現の仕方について理解する。 e:広告表現の特色について理解している。	a, d, e: 行動の観察 c: 記述の点検・分析及び行動の観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。